

## ごあいさつ

～ 第3次妙高市総合計画の策定にあたって ～

妙高市は、誕生以来一貫して、「生命地域の創造」を基本理念として、妙高を想う人と豊かな自然のつながりを大切にし、全ての生命が輝き、真の豊かさを実感でき、安心して生命を育むことができる地域を守ってまいりました。

令和の時代を迎え、このふるさと妙高を次の時代にしっかりとつないでいくため、総合計画審議会や市民説明会、そして、議会での審議など、市民と行政、議会との協働により、多くの方々の声と思いが反映された「第3次妙高市総合計画」を策定いたしました。

本計画では、あらためて「生命地域の創造」を基本理念に掲げ、山積する諸課題に向き合い、挑戦するための施策の方向性をお示しし、市民の皆様と共に、施策を着実に実行することにより、人と自然が調和した持続可能なまちづくりを進めてまいります。

また、私たちは、世界の一員として、平成27年に国連総会で採択された持続可能な開発目標(SDGs)の考えを取り入れながら、世界に誇れる妙高戸隠連山国立公園などの「環境」を保全し、安心して生活できる「社会」、豊かな暮らしを支える「経済」の3側面のバランスを保った市政運営を進めることが重要と認識しております。

企業、団体、地域の皆様、そして市民お一人おひとりと、未来へ持続可能なまちをつないでいくという思いを共有しながら、まちづくりの基本理念やSDGsの考えを胸に刻み、将来にわたって安全・安心で、住みよい地域であり続ける「人、自然、全ての『生命』が輝く妙高」の実現に向け、尽力してまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見・ご提案をいただきました市民の皆様をはじめ、様々な視点からご提言・ご審議賜りました総合計画審議会委員の皆様、策定にご尽力をいただきました多くの皆様に心から感謝申し上げます。

令和2年3月

妙高市長

入村 昭

